プロジェクト　収益認識に関する包括的な会計基準の開発
項目　第 352 回企業会計基準委員会で聞かれた意見

本資料の目的

1. 本資料は、第 352 回企業会計基準委員会（2017 年 1 月 10 日開催）において審議した項目について、聞かれた主な意見をまとめたものである。

会計基準の構成の検討

2. 開発する日本基準の冒頭に、IFRS 第 15 号における 5 ステップの考え方やその理解に資するフローチャート等を記載することにより、読み手の会計基準に対する理解の助けとなるのではないか。

個別論点に関する今後検討すべき課題の候補

3. 現行の日本基準における実務において認められている会計処理には、会計基準に準拠している範囲で認められているものと、監査上の判断として認められているものがあり、課題に対する対応を検討する際には、それらを区別して考える必要があるのではないか。

以　上

財務会計基準機構のWebサイトに掲載した情報は、著作権法及び国際著作権条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律並びに条約によって保護されています。許可なく複写・転載等を行うことはこれらの法律により禁じられています。